

平成25年11月6日
 上場取引所 東

 上場会社名 株式会社 ブイ・テクノロジー
 コード番号 7717 URL <http://www.vtec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 重人
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部IRグループ長 (氏名) 河原 拓
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

 TEL 045-338-1980
 平成25年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,337	263.8	375	—	352	—	180	—
25年3月期第2四半期	1,741	△83.5	△660	—	△664	—	△495	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 291百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △548百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3,861.48	—
25年3月期第2四半期	△10,595.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	14,381	8,024	54.5	167,364.16
25年3月期	13,567	7,791	56.0	162,378.52

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,831百万円 25年3月期 7,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00
26年3月期	—	1,250.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1,250.00	2,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	211.3	400	—	350	—	200	—	4,274.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	47,540 株	25年3月期	47,540 株
26年3月期2Q	748 株	25年3月期	748 株
26年3月期2Q	46,792 株	25年3月期2Q	46,792 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
(1) 従業員数の状況	10
(2) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国をはじめとする新興国経済では成長ペースが鈍化しましたが、米国経済では緩やかな回復基調が見られ、また欧州経済では持ち直しの動きが見られました。また、わが国経済は、各種政策への期待感から総じて円安・株高が進み、景況感には改善の動きが見られました。

当社グループの関連するフラットパネルディスプレイ（FPD）市場では、これまで延伸されていた主力のテレビ向け大型液晶パネル並びにスマートフォン及びタブレット端末向けの中小型液晶パネルについて、主に中国において新設ライン用設備投資に向けた動きが見られたほか、有機ELの新たな設備投資計画の動きも見られました。

このような環境の中、当社グループは、検査関連装置については主に中国及び韓国向け案件での商談成約に向けた活動を、露光装置及び有機EL用装置については国内外のパネルメーカーへ拡販活動を行ってまいりました。

受注金額は、主に中国及び韓国向けの検査関連装置、中国及び国内向けの露光装置並びに関連消耗部品及びメンテナンス等の受注により、56億6千2百万円（前年同期は6億9千7百万円）となりました。なお、受注残高は57億7千7百万円（前年同期は16億9千万円）となりました。

この結果、売上高63億3千7百万円（前年同期売上高17億4千1百万円）、営業利益は3億7千5百万円（前年同期営業損失は6億6千万円）、経常利益は3億5千2百万円（前年同期経常損失6億6千4百万円）、四半期純利益は1億8千万円（前年同期四半期純損失4億9千5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億1千4百万円増加し、143億8千1百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」が13億7千2百万円、「仕掛品」が2億6千7百万円増加したこと及び「現金及び預金」が8億4千7百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億8千1百万円増加し、63億5千7百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」が6億7千4百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億3千2百万円増加し、80億2千4百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、5億2千万円減少し、47億6千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、2億4千2百万円（前年同期は8千2百万円の取得）となりました。資金の取得は、主に仕入債務の増加額6億5千7百万円、税金等調整前四半期純利益3億5千8百万円により、資金の使用は、主に売上債権の増加額13億2千5百万円によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果取得した資金は、3億1千6百万円（前年同期は3億1千7百万円の使用）となりました。主に定期預金の純増額3億6千3百万円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6億4千1百万円（前年同期は1億9千3百万円の使用）となりました。主に短期借入金の純減額3億円、長期借入金の返済額2億8千7百万円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月1日付の「事業の一部譲受けに関するお知らせ」の件が当期の業績に与える影響額は、平成25年5月10日付決算短信及び平成25年8月2日付決算短信における平成26年3月期の連結業績予想には含まれておりません。

上記の譲受け案件に加えて、連結業績予想に上方の影響を与える見込みの新たな案件は複数発生しており、連結業績予想の上振れの可能性は十分に考えられますが、一方で、案件によっては顧客側の都合等により装置の納入時期が翌期以降に延伸する可能性もあるため、現時点において連結業績予想を正確に修正することは困難な状況にあります。

従いまして、平成25年8月2日付決算短信における連結業績予想からの変更はいたしておりません。連結業績予想につきましては、業績の見通しが確定次第、すみやかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,790	4,943
受取手形及び売掛金	4,088	5,460
商品及び製品	46	42
仕掛品	1,203	1,471
原材料及び貯蔵品	408	401
その他	545	687
貸倒引当金	△20	△24
流動資産合計	12,062	12,981
固定資産		
有形固定資産	859	843
無形固定資産	57	39
投資その他の資産		
関係会社株式	21	12
その他	566	505
投資その他の資産合計	588	517
固定資産合計	1,504	1,400
資産合計	13,567	14,381
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,673	2,347
短期借入金	1,150	850
1年内返済予定の長期借入金	701	827
未払法人税等	19	73
製品保証引当金	118	145
引当金	70	104
その他	333	705
流動負債合計	4,066	5,055
固定負債		
長期借入金	1,642	1,228
引当金	66	73
固定負債合計	1,708	1,301
負債合計	5,775	6,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408	2,408
資本剰余金	2,064	2,064
利益剰余金	3,219	3,341
自己株式	△125	△125
株主資本合計	7,567	7,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△1
繰延ヘッジ損益	10	—
為替換算調整勘定	22	142
その他の包括利益累計額合計	30	141
新株予約権	193	192
純資産合計	7,791	8,024
負債純資産合計	13,567	14,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,741	6,337
売上原価	1,473	4,792
売上総利益	268	1,545
販売費及び一般管理費	929	1,170
営業利益又は営業損失(△)	△660	375
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	18
その他	2	2
営業外収益合計	23	20
営業外費用		
支払利息	12	16
為替差損	3	14
持分法による投資損失	2	9
その他	8	3
営業外費用合計	27	43
経常利益又は経常損失(△)	△664	352
特別利益		
固定資産売却益	0	—
新株予約権戻入益	0	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産除却損	0	1
割増退職金	111	—
特別損失合計	111	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△775	358
法人税、住民税及び事業税	4	105
法人税等調整額	△284	72
法人税等合計	△279	178
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△495	180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△495	180

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△495	180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	1
繰延ヘッジ損益	—	△10
為替換算調整勘定	△50	119
その他の包括利益合計	△52	111
四半期包括利益	△548	291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△548	291
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△775	358
減価償却費	55	58
株式報酬費用	24	2
新株予約権戻入益	—	△8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	36
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△108	26
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7	6
受取利息及び受取配当金	△21	△18
支払利息	12	16
為替差損益(△は益)	5	△1
持分法による投資損益(△は益)	2	9
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
有形固定資産除却損	0	1
割増退職金	111	—
保険解約損益(△は益)	4	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,329	△1,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6	△253
その他の流動資産の増減額(△は増加)	153	△162
その他の固定資産の増減額(△は増加)	3	1
仕入債務の増減額(△は減少)	△665	657
前受金の増減額(△は減少)	△116	208
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△57	163
小計	△97	△215
利息及び配当金の受取額	21	18
利息の支払額	△12	△20
法人税等の還付額	309	47
法人税等の支払額	△26	△71
割増退職金の支払額	△111	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	82	△242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△419	△181
定期預金の払戻による収入	209	545
有形固定資産の取得による支出	△64	△10
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△13	△6
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
関係会社株式の取得による支出	△33	—
貸付けによる支出	—	△30
貸付金の回収による収入	2	—
保険積立金の積立による支出	△92	—
保険積立金の解約による収入	95	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317	316
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,150	450
短期借入金の返済による支出	△1,150	△750
長期借入金の返済による支出	△135	△287
配当金の支払額	△58	△58
新株予約権の発行による収入	—	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193	△641

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△439	△520
現金及び現金同等物の期首残高	4,942	5,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,503	4,761

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年7月1日開催の臨時取締役会において、下記のとおり、オムロンレーザーフロント株式会社(以下「O L F T社」)の「F P D・半導体業界向けリペア装置事業」を譲り受けることについて決議を行い、同日付でO L F T社と事業譲渡契約書を締結いたしました。その後平成25年10月1日付けで事業を譲り受けております。

(1) 事業譲受けの理由

O L F T社は、日本で初めて固体レーザーを事業化した企業であります。「F P D・半導体業界向けリペア装置事業」では、局所レーザーC V D技術(※)を中心に、F P D分野及び半導体分野において微細な欠陥を修正する装置、サービス・サポートを広く提供してきました。

当社は、F P D分野において生産に貢献するイノベティブな装置を広く提供しております。事業譲受けによって既存事業との相乗効果により顧客へ提供する価値を増加できると判断し、今回の締結に至りました。

(※) C V D (=Chemical Vapor Deposition : 化学気相成長)とは、T F T (薄膜トランジスタ)等の製造工程で基板上にシリコン等の薄膜を形成する工業的手法

(2) 事業譲受けの内容

F P D向けリペア装置及びF P D/半導体用マスクリペア装置の設計、製造、修理、サポート等の全業務

(3) 譲受け価額、譲受け資産及び負債の額

現在精査中のため、未定であります。

(4) 譲受けの時期

平成25年10月1日

(5) 相手先の概要 (平成25年3月31日現在)

名称	: オムロンレーザーフロント株式会社
所在地	: 神奈川県相模原市中央区下九沢1120
代表者	: 代表取締役社長 小林 光生
事業内容	: レーザー加工装置の開発・製造・販売・保守サービス
資本金	: 1,508百万円
設立	: 平成16年1月
大株主	: オムロン株式会社
相手先との関係	: 資本関係・人的関係・取引関係ともに該当すべき事項はございません。

4. 補足情報

(1) 従業員数の状況

当第2四半期連結累計期間において、従業員数が前連結会計年度末179名から1名減少しております。なお、従業員数は就業人員(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。)であり、臨時雇用者(パートタイム労働者及び派遣社員)は含んでおりません。

(2) 生産、受注及び販売の状況

当社の事業特性上、生産、受注及び販売額について前年同期と比較した場合、増減額又は増減割合が著しく変動する可能性があります。これは、FPD関連製造設備は生産性向上のために大型化し1件当たりの投資額が巨額になってきていること及び検査関連装置に比べて単価が多額である露光装置の事業が拡大していること、並びに当社グループでは、顧客の個別注文に応じた受注生産販売を行っているため、顧客の都合によっては受注や納入の時期が変動し、業績に与える影響が大きくなる可能性があるためです。

当第2四半期連結累計期間において、FPD事業の生産、受注及び販売実績は、次のとおりです。

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	前四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
FPD事業	1,199	5,933	394.5
合計	1,199	5,933	394.5

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注金額

当第2四半期連結累計期間の受注金額を地域別に示すと、次のとおりです。

地域	前四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	194	467	140.6
中国	67	2,608	—
韓国	301	2,031	573.1
台湾	133	555	315.6
合計	697	5,662	712.1

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 中国の受注金額の前年同四半期比は、1,000%以上のため記載しておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりです。

地域	前四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) (百万円)	当四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	451	803	77.8
中国	661	4,062	513.8
韓国	399	607	52.1
台湾	229	864	277.4
合計	1,741	6,337	263.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。